

ひまわり通信

特定非営利活動法人 福岡地域福祉サービス協会
事業所：＜訪問介護＞ひまわり・巡回介護ひまわり・東・西・南・箱崎 ＜デイサービス＞ひまわりはらだ・柏の森 ＜ひまわり大楠＞・リハビリデイ・小規模多機能・グループホーム



自宅学習



高齢者、障がい者虐待防止法について

感染症に気をつけ、安心・安全なサービスを行う

食中毒・感染症・熱中症予防について

【理解できたこと】

高齢者の脱水のサイン

- ・感染症や食中毒など特別なことなどでは無くて日常にあり、日頃の対策が
- ・高齢者が脱水症になりやすいのは、**筋肉量が減って体内に水分を溜められ**
- ・**腎臓の動きが低下して、水分をうまく調節できない。**
- ・心疾患や腎臓病の場合は、摂取してよい水分量が異なってくることも理解できた。
- 「1.2ℓの水分摂取」を目安に、個々の利用者に合わせた脱水症対策が必要だと思った。
- ・経口補水液の作り方 塩 1.5g (スプーン1/3)
砂糖 20g (ペットボトル キャップすりきり3杯)
水 500ml



大事ということ高齢者は特にだ
ない。

・年齢を重ねると、体内の水分量が減り、体の様々な機能や感覚が低下していくため、のどの渇きも感じにくくなるのが理解できた。

・朝食を抜かず3食しっかり食べる。

・高齢者の脱水のサインはわかりにくいです。「べた」「だる」「ふら」「いた」を常にチェックすること温度計を用意し、意識できる環境を整えることは大事だと思いました。

・高齢者が高血圧は心不全の治療薬を服薬の場合利尿作用を伴う物もあり、日常的に服薬していると、おのずと尿の量が増え、体液を失いやすい状態になること。

・ヘルパーがいない時間の生活を想定して支援するということ。

・加熱処理は中心部を75℃で1分加熱する。時間の生活を想定して支援するということ。・早く食べてほしい物は、目立つ所に置き、声掛けをする。

できない事を助けるのがヘルパーの努めであるが
手助けされると、できない烙印を押されたように思



われる利用者の方もいるので、やられていることを否定せずに反応を見ながらサポートして信頼関係を保つ。



■かくれ脱水

- 「べた」・・・首筋などがべたべたしてくること
- 「だる」・・・体のだるさがとれないこと
- 「ふら」・・・めまいや立ちくらみ、ふらつきなどの症状を感じる
- 「いた」・・・足がつったり、頭が痛くなったりすること。

気になること(-_-)

今年もまた青々とした実をつけているこの木ですが、ついこの間まで**黄色の実が一個**残っているのを見上げながら通勤をしていた方が何人もいました。いつ落ちたのか？・・・落ちた実はどうなったのか？・・・(-_-)

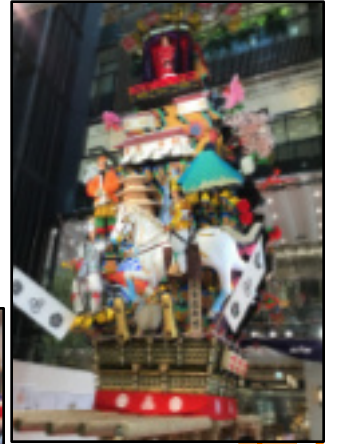
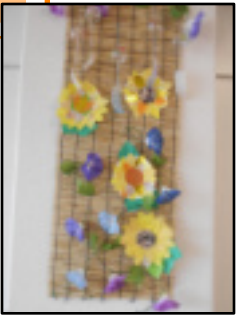
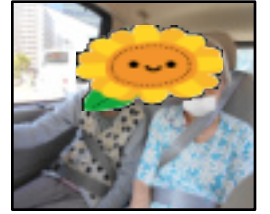
本部より

お知らせ

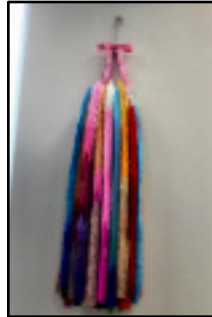
ヘルパーさんへの健診案内は
9月下旬ころから
開始します。



ひまわり大桶



デイサービスは、平和のいのりをこめて彩が良い千羽鶴の完成です。七夕の短冊に願いを込めて、『願いが叶いますように。イエー!!!』小多機ホームは山笠の飾り山に行きました。花火やひまわりが咲いている夏真っ盛り、グループホームは先陣を切って夏祭りが開催され、盛り上がっていました。



デイサービスひまわりはらだ

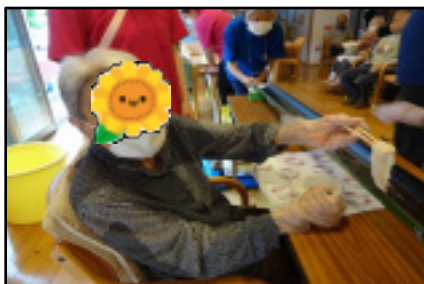


初物のスイカをいただきました。スイカ割りも楽しみながら美味しくいただきました。

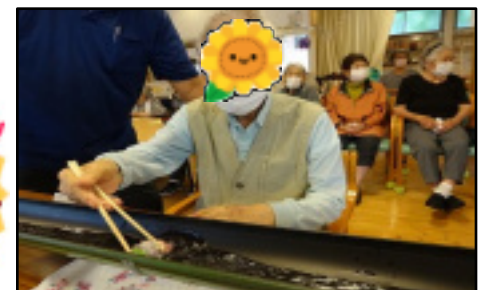
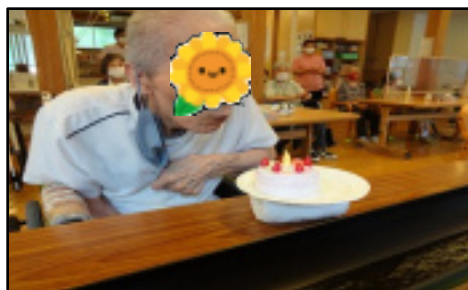


98歳！紙コップ積み挑戦中です。将棋が日課に、脳が活性化しています！輪投げにはまっています！

デイサービス柏の森ひまわりホーム柏の森ケアプランセンター柏の森



コロナ禍で自粛していたソーメン流しを、形を変え感染対策を徹底し2年ぶりに実施しました。ソーメンの代わりにお誕生日ケーキ等も流れてきます。ソーメンもその場では食べられないけど、たっぷり取ることができ、皆さん満面の笑顔です。早くコロナ感染が収まりますように！！



10年き n